

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	1	質問者	湊 本 稔	平成24年6月13日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 新エネルギーの取り組みについて				(1) 市内の自然エネルギー量の調査及び新エネルギー・省エネルギービジョンの策定が行われていますが、現段階における状況及び今後の方向について市長の御所見を伺います。 ① 市内の利用可能な自然エネルギー・新エネルギー量はどれくらいか。 ② 推進体制となる「推進協議会」の役割と事業者との関係を明らかにされたい。 ③ 農業・商業・工業・観光等との連携を、どのように図られるか。	市 長
2. 市内の高校教育を充実させるために				(1) 極端な少子化の進行によって市内の生野高校及び和田山高校の生徒数が減少し、特に生野高校については科学探求コース1クラス・普通科コース1クラスと1学年80人となっています。生野高校自身も中高連携・地域連携の取り組みを進めていますが、市も高校教育充実のために支援する必要があり、市長・教育長のご所見を伺います。 ① 平成23年度市内中学校卒業生の進学状況を、各高校別に示されたい。 ② 市内中学校の果たすべき役割を明らかにされ、市は支援体制を充実すべき。	市 長 教育長
タ イ ト ル		自 然 エ ネ ル ギ ー の 導 入 促 進 を			

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	2	質問者	木 村 圭 介	平成24年6月13日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. コウノトリと暮らす郷づくり事業について				(1) コウノトリの生態・飼育について ① 朝来市での放鳥に向けた工程はどうなっているのか。 ② 市の繁殖・放鳥に関する詳細計画はあるか。 ③ 当該地域への周知・対応はどうなっているか。 (2) コウノトリの生息環境と地域の準備について ① 現状のコウノトリの生息状況はどうなっているか。 ② 施設の設置予定地域に求める対応はあるのか。 ③ コウノトリと共生するために、一体的な整備の必要性はあるか。 ④ 地域の農業と自然環境についてどう考えているか。 (3) コウノトリと暮らす郷づくり事業と市の対応について ① コウノトリを地域の財産としての理解をどうするか。 ② 子どもたちの教育・郷育・共育としての考え方はあるか。 ③ 観光資源としての考え方はあるか。 ④ 農商工連携へのコウノトリの位置付けをどう考えているか。 ⑤ 市内の他地域との連携はどう考えているか。	市 長 教育長
タ イ ト ル		コ ウ ノ ト リ と 暮 ら す 郷 づ く り 事 業			

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	3	質問者	坪 内 一 由	平成24年6月13日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 基金（仕組債）問題について				(1) 基金（仕組債）問題で、含み損に対して売り手側の証券会社及び銀行を相手方に訴訟する考え方は。 (2) 買い手側に対する損害賠償の考え方は。 (3) 何れに関わらず、訴訟を起こせば損害は発生します。損害額補填に対する考え方は。 (4) 平成23年度一般会計の決算状況は。一部基金の充当で、必要が生じても取り崩しできない基金のために、それらを補填する基金増設はできないか。	市 長
2. 両医療センター統合新病院について				(1) 本定例会に上程された補正予算に統合新病院の用地交渉事務を病院組合から受け、予算化されているが、市としての今後の動きは。 (2) パブリックコメントから見える市民の意見に対する病院組合との協議は。	市 長
3. 与布土浄水場建設のその後の動きは				(1) 水道事業会計の内部留保金の推移と企業債縮減に向けた動きは。 (2) 浄水の有効活用のためにも、漏水対策の検討は進んでいるか。	市 長
タ イ ト ル		市 民 が 安 心 で き る 行 政 運 営 を			

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	4	質問者	波 多 野 優	平成24年6月13日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. ヤンマーアグリイノベーションの朝来市進出について				(1) ヤンマーが目指している機械化による効率的な農業に対する市としての評価を問う。 (2) 朝来市での展開について、どのように捉えているか。 (3) これまでの市の取組状況は。 (4) 今後のスケジュールは。	市 長
2. 企業誘致について				(1) 企業誘致の取組状況は。 (2) 成果があがらないなら取組策の見直しを図るべきと考えるが。	市 長
3. 「恋人の聖地」の認定について				(1) 市としての評価は。 (2) 市の対応は。	市 長
タイトル		産 業 の 活 性 化 を 目 指 し て			

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	5	質問者	能 見 勇八郎	平成24年6月13日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 小中学生の学力向上について				(1) ゆとり教育による学力低下をどのように認識しているか。 (2) 朝来市の小中学生の学力の現状をどのように考えるか。全国学力学習調査の分析から何が浮かび上がるか。その解決策はどう考えるか。 (3) 学校間の長所・短所を明確にし、教育の改善を図るため全国学力学習調査の結果を発表する考えはないか。それが難しいなら、市独自の統一テストを実施し、その結果を公にしてはどうか。	市 長 教育長
2. 生野義挙（生野の変）と山田顕義に関する市の取り組みについて				(1) 生野義挙に関する調査研究について 平成25年度の150周年式典に向けた準備委員会の設置等はどうなっているか。 (2) 山田顕義の没後120周年慰霊祭式典について ① 11月11日（日）に日本大学校友会を中心に行なわれると聞くが、市としての取り組みはどうなるか。 ② 映画化に向けた取り組みの進展状況はどうなっているか。	市 長 教育長
タイトル		小 中 学 生 の 学 力 向 上 に つ い て			

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	6	質問者	横 尾 正 信	平成 2 4 年 6 月 1 3 日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1．第二次総合計画の策定のために地域 活性化策を問う				朝来市の第二次総合計画の具体的諸策のプランニングの前進のために、今回は特に、地域活性化の分野で質問する。 (1) 前回に続く質問である。産業活性化のためには、企業誘致と並んで「起業支援・起業促進」を基本に置くべきではないか。そのための条例制定の必要性を提言する。財源は、法人税の一定割合など、年間 5, 000 万円～ 1 億円程度を充てることからスタートしてはどうか。 (2) 観光・交流の推進のために「北はりま田園空間博物館」を参考事例にすべきと考える。 ① 朝来市の地域資源を掘り起こし、「田園空間・歴史ミュージアム」としてネットワーク化し、農村・都市交流を促進すべきではないか。活動の財源は、「まほろば」「フレッシュ朝来」などからの収受金等の約 3, 000 万円程度を充ててはどうか。	市 長
タ イ ト ル		観 光 交 流 策 と 起 業 支 援 策 の 促 進 を			

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	7	質問者	吉 田 俊 平	平成24年6月14日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 朝来市社会福祉協議会の正規職員人 件費補助対象人員について				(1) 現行の11名を見直し、従来の12名に戻すべきであるとするが、市長の見解を問う。	市 長
2. 基金問題について				(1) 損害賠償請求訴訟（売り手責任）が敗訴の場合の損失額や裁判等の費用をどうするのか、市長の見解を問う。	市 長
3. 新病院の病診連携・地域医療連携に ついて				(1) 病診連携・地域医療連携を行なうために朝来市と関係諸団体とで推進協議会を設置すべきと考えるがどうか。	市 長
4. HIV感染拡大防止策について				(1) HIV感染拡大防止策を講ずるべきとするが、市長の見解を問う。	市 長
5. コンビニ交付サービスについて				(1) ローソンのコンビニ交付サービスへの参入が決まった。改めてコンビニ交付サービスに取り組むべきとするが、どうか。	市 長
タ イ ト ル		市 内 の 地 域 医 療 連 携 を 推 進 す べ し			

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	8	質問者	上 谷 廣 志	平成24年6月14日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1．地域防災力向上				(1) 過去の災害に何を学ぶか。 (2) 自主防災組織の現状と将来像は。 (3) 市内の防災訓練は有事に適合しているのか。 (4) 自主防災組織で災害図上訓練を（D I G） (5) 避難所は安全か。 (6) 学校の防災教育や防災機能の充実を	市 長 教育長
2．朝来市ポイント制度の創設を				(1) 介護保険ポイント制度を、どのように考えているか。 (2) 健康ポイント制度の導入を。	市 長
タ イ ト ル		健 康 で 安 心 な 朝 来 市 を 目 指 し			

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	9	質問者	太 田 則 之	平成24年6月14日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 第二次総合計画策定に当たって				(1) 市職員の存在意義の再確認が必要。民間企業でいう「経営理念」のようなものは朝来市にあるのか。 (2) 市職員の職務遂行に当たり、「現場主義」「予算主義から成果主義への転換」の徹底が重要と考えるが。 (3) 人口減少下で経済の縮小を食い止めることは至難の業だが、「地域全体の価値を高め、発展させ、将来にわたって市民が住みよい町」となるような総合計画とせねばならないと考えるが。 (4) 限りある財源からして、今までの手法から大きく舵を切り、さらに施策の選択と集中を進めなければならないと考えるが。	市 長
2. 新エネ・省エネ・バイオマスについて				(1) 再生可能エネルギーの固定価格買取制度が示された。生野の水力発電は早急に取りかかるべし。 (2) バイオマス活用推進計画では、間伐材等の利用率を平成33年度に100%とある。どのような想定か。	市 長
タ イ ト ル		地 域 社 会 全 体 の 価 値 を 高 め よ			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3. 歩行者をどう守るか。	(1) 歩行者の事故が後を絶たない。市内の歩道のない通学路の状況とその安全対策を問う。 (2) 竹田の町なか等も歩道がなく、危険である。観光客が増加傾向にあり対策を望む。	市 長
4. 児童手当からの特別徴収について	(1) 子ども手当では保育料の「天引き」が可能であった。制度変更に伴い児童手当でも「天引き」ができないか。	市 長
5. 企業誘致について	(1) 企業誘致の考え方について問う。	市 長

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	1 0	質問者	岡 田 和 之	平成 2 4 年 6 月 1 4 日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1．震災がれきの受入れについて				(1) 県は、県内各市町に東日本大震災で発生した震災がれきの受入れを要請し、5月 11 日までに受入れの可否の回答を求め、その回答結果が 5 月 14 日に広報された。朝来市は「受入れ検討中」と回答しているが、どのような内容で県に回答したのかお尋ねします。	市 長
2．国民健康保険について				(1) 市の受付窓口においてある国民健康保険の説明パンフレットを見ると、国民健康保険は相互扶助の制度だとされています。しかし、国民健康保険法第 1 条では、「社会保障及び国民保健の向上に寄与するための制度である」ことが謳われています。1961 年の新法の実施により、国民健康保険はそれまでの相互扶助の制度から、憲法に基づき国民の医療を受ける権利を保障する制度へと位置づけが変わっています。このことに対する認識をお尋ねします。 (2) 一部負担金の徴収猶予及び減免取扱規程が定められていますが、この運用状況についてお尋ねします。 (3) 一部負担金の徴収猶予及び減免取扱規程の第 3 条の対象者に、自然、社会災害	市 長
タ イ ト ル		震 災 が れ き の 受 入 れ ・ 国 保 に つ い て			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
	による減収要件に加え、低所得者を減免対象にするように改善すべきだと考えますがいかがでしょうか。	市 長

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	1 1	質問者	鈴 木 逸 朗	平成 2 4 年 6 月 1 4 日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1．原子力発電所の再稼働について				(1) 原子力発電所の再稼働について、見解は。 (2) 防災計画の見直しについて進捗は。	市 長
2．子ども、子育て新システムについて				(1) 市内こども園、保育所、幼稚園に与える影響について ① 公的保育の実施責任はどうなるか。 ② 保育の質は「落とさず」に確保されるのか。 ③ 施設との直接契約を結ぶとどうなるのか。 ④ 利用手続や保護者負担などについて。 ⑤ 保育、教育に営利企業の参入でどうなるか。	市 長 教育長
タ イ ト ル		子 育 て の 希 望 を 奪 う 新 シ ス テ ム			

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	1 2	質問者	丸 尾 行 子	平成 2 4 年 6 月 1 4 日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1．仕組債について				(1) 問題解決に向けての具体的な案を問う。	市 長
2．合併特例債について				(1) 合併特例債の発行限度額 (2) 合併特例債の適用延長を問う。 (3) 今後、合併特例債を充当していく施策は何なのか。	市 長
タ イ ト ル		仕 組 債 と 合 併 特 例 債 に つ い て			

第17回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	13	質問者	日 下 茂	平成24年6月15日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 今、朝来市は右肩上がりか				(1) 節電でどうなる朝来市 ① 節電計画と使用規制及び電気管理のずさんさ。 (2) 基金（仕組債）問題が及ぼす影響。	市 長
2. 観光都市の責任				(1) J R 和田山駅周辺の J R 用地、機関庫の活用は。	市 長
3. 十月十日のまち				(1) 高度周産期医療のまちを目指せ ① 第3者で医師確保を ② 公立豊岡病院との関係	市 長
タイトル		今、朝来市は右肩上がりか			